

# シャドーITの検知は CASB? or SMP?

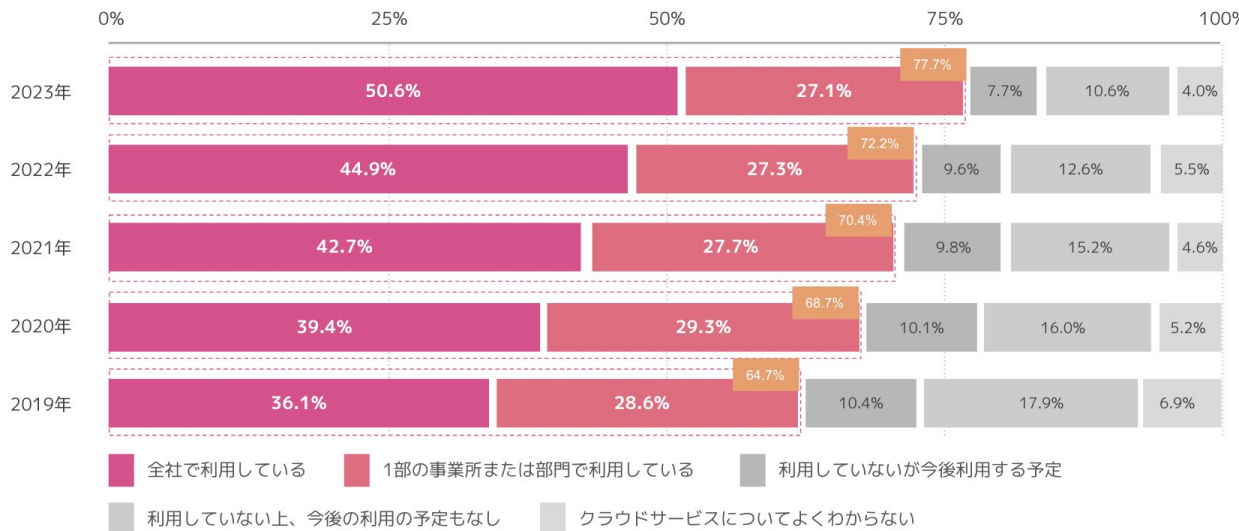
— CASBとSMPを解説 —



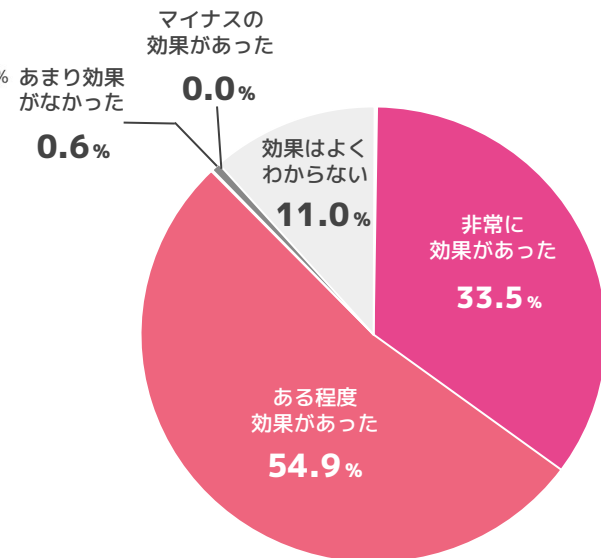
# CASBとSMP

クラウドサービスの利用は年々拡大  
 利用している企業の割合は8割弱、効果を実感している割合は9割弱にのぼる

企業におけるクラウドサービスの利用状況



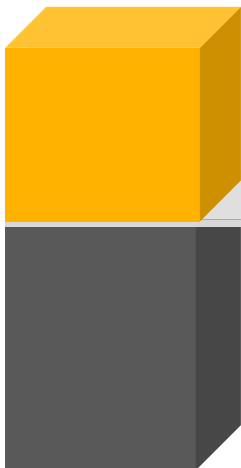
企業におけるクラウドサービスの利用の効果



参照元: 令和6年版 情報通信白書

シャドーITとは・・・  
情報システム部門などが関知せず、ユーザー部門が独自に導入した  
IT機器やシステム、クラウドサービスなどのことを指す

## 利用SaaS



### 情シスが把握(承認)しているSaaS

- **情シスが主幹**となり、従業員に配布しているSaaS
- 部門利用の場合、ワークフローなどで**情シスの承認を得て利用**しているSaaS

### 情シスが把握していないところで現場が利用しているSaaS

- 情シスの承認を得ずに、現場判断で利用しているSaaS
- 外部企業の環境下で、招待を受けて利用しているSaaS
- トライアルなど、無課金で利用しているSaaS

CASB (Cloud Access Security Broker) とは  
従業員のクラウドサービスの利用を可視化し、適切なセキュリティ対策を行うソリューションのことです

CASBは、2012年にアメリカのITアドバイザリー企業ガートナー社によって提唱された、情報セキュリティのコンセプトに基づいたソリューションです。

クラウドサービスを利用するユーザーとクラウドサービスプロバイダー（ベンダー）の間に配置され、オンプレミスやクラウドベースのセキュリティポリシーを制御するポイントとして機能します。

これにより、クラウドリソースへのアクセス時に企業のセキュリティポリシーが適用され、安全な利用が可能になります。

[具体的なセキュリティポリシー]

認証、認可、SSO、認証情報のマッピング、デバイスのプロファイリング、暗号化、トークン化、ロギング、アラート、マルウェアの検出・防止など



## CASBは大きく分けて4つの機能を提供しています

### 可視化

どのユーザーがどのクラウドサービスにアクセスしているか可視化します。  
ストレージサービスへのアップロード・ダウンロードを監視。  
不審な動きや禁止ポリシー違反を検知し、リスクを可視化します。

### データセキュリティ

クラウド上の機密情報を暗号化・監視し、情報漏洩や改ざんのリスクを検知。  
アクセス権限を管理し、不正なデータ操作や持ち出しを防止します。

### コンプライアンス

クラウドサービスの使い方が自社のセキュリティポリシーを満たしているか監査します。  
自社の機密情報を定義し、認証強度、トランザクション量などを監視・制御。  
クラウド利用の適正化を図ります。

### 脅威防御

クラウドサービスやウェブサイトのリスクを評価し、危険なクラウドサービスやマルウェア感染の恐れがあるサイトへのアクセスを制限。  
企業のセキュリティリスクを最小限に抑えます。

SMP (SaaS Management Platform) とは  
企業が利用するSaaSを一元管理および効率的な運用を可能にするソフトウェアのことです

## ▽ ガートナー社が提唱するSMPの3つの機能

1

### SaaSの検出

#### SaaSの情報を追跡

▽以下のソースを使用

- ・ SaaS API
- ・ ネットワーク機器
- ・ ブラウザ拡張機能

また、SaaSを利用するユーザーの  
アクティビティに関する情報も集計

2

### SaaSの管理

#### SaaSの管理業務を一元化

▽以下のITタスクがシンプルに

- ・ アカウント発行
- ・ ユーザーの入退職時の処理
- ・ ライセンス管理
- ・ 部署のグルーピング

3

### セキュリティ

#### SaaSのコントロールセンター

▽以下のセキュリティ設定を一元化

- ・ アカウントに付与された権限情報
- ・ データの保護
- ・ アクセスのコントロール

CASBとSMPは「シャドーITが検知できる」という点で共通しています  
しかし、シャドーIT検知の目的とテクノロジー構造が異なります

## CASBのシャドーIT検知

セキュリティコントロール

- 許可したクラウドのみ利用
- 社内ポリシーを徹底
- セキュリティリスクから保護

目的

リバースプロキシ、フォワードプロキシ、  
ネットワークログ、エージェント、API  
ベースなどのアプローチを組み合わせる

検知方法

既存ネットワークを考慮した導入が一般的

ネットワーク  
依存度

新たにネットワークに介在

検知の仕組み

## SMPのシャドーIT検知

クラウドマネジメント

- 余分なクラウドを発見し、統合または削除
- ライセンス、アカウントライフサイクルの適正化
- 未使用ライセンスの最適化

SaaS API、IdPやMDMのAPI、OAuthの可視化、  
Browser拡張機能の一括配布などを活用した軽量  
なアプローチ

既存ネットワークを考慮せず導入できる

既存のクラウド環境や企業のアセットを活用



## CASBとSMPのメリット/デメリット

### CASB

セキュリティコントロール

- より多くのユーザ通信を検知可能
- 様々なセキュリティアクションが可能  
(リスク評価や通信の制御など)

- ハイエンドサービスのため高めの価格設定
- 既存のネットワークに介在するため、導入や運用に多くの工数が発生する

メリット

デメリット

### SMP

クラウドマネジメント

- 導入が簡単で低価格
- セキュリティ以外の運用が可能  
(アカウント管理、コスト削減など)

- セキュリティ統制などの要件が厳密な場合、CASBの方がより広範囲に細かい精度で検知可能

# SaaS Management Platform マネーフォワード Adminaとは

従業員が利用するSaaS/デバイスを一元管理するサービス



管理業務の効率化/セキュリティ強化/コスト削減を実現



## シャドーIT

### 情報システム部門が把握できていないSaaSも多様な検出方法で検知

#### 3種のシャドーIT検知機能

「Googleログイン」「ブラウザ拡張機能」「コストマスター」からシャドーITを検知

ブラウザ拡張機能は、2つのブラウザに対応しています。



#### 19万件の独自SaaS DB

Adminaが独自に所有しているSaaS DBと突合することで網羅性の高いシャドーITの検出が可能

国内外の新しくリリースされたSaaSも日々登録されているため、網羅性の高い検出が可能となっています。

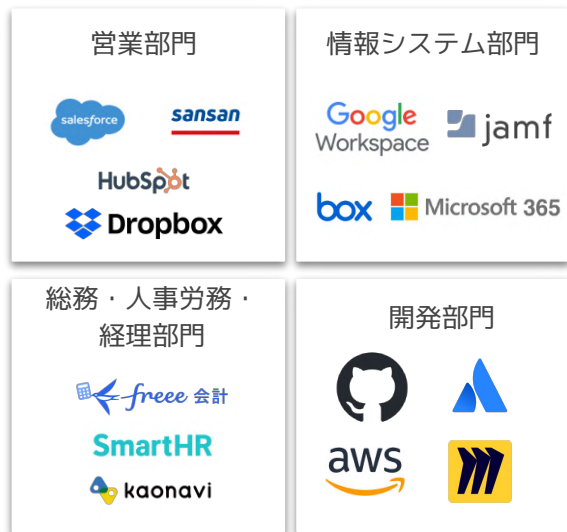
#### 利用状況はUI上で確認

「いつ」「誰が」「何を」使っているのかをAdminaのUI上で確認・管理可能



部門ごとのSaaS利用を促進し、企業成長のスピードを維持しながら  
情シス部門による全体像の把握・セキュリティ対策・コスト最適化を実現

自部門のSaaSのみ把握・管理



それぞれが管理しつつも、全体像を把握



連携できるSaaSが多いからこそ、効率的かつ網羅的な管理が可能に



一部連携SaaS抜粋

< お客様の要望に対応してSaaSの連携開発も実行 >

Rentio



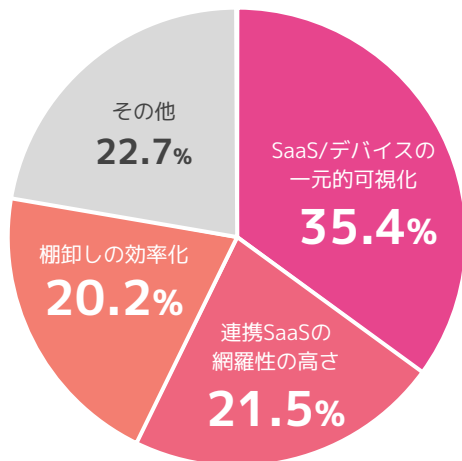
ご担当者様

弊社では以前からKandji という MDM製品を運用しています。これは主に欧米向けの製品なのですが、近頃複数の代理店で取り扱いがスタートしており、これから日本でも流行りそうな予感がしています。

▶ 1ヶ月で連携の実装！

おかげさまで多くのユーザー様にAdminaをご利用いただいております  
Adminaをみなさまが選ばれた理由を一部ご紹介

## 課題解決に最も役に立った Adminaの特徴



## お客様の声 一部ご紹介

情報システムの視点から見ると、Adminaのようなツールの導入が、アカウント管理の効率化や上場企業に求められるIT統制に対応する手段となります。また、費用対効果の透明性向上も期待できます。Adminaを利用することで、企業の運用がより効率的になり、管理面での向上が見込まれます。

Adminaは、一言でいうと本当に使いやすいです！一元的な管理と退職アカウント、公開ファイルの管理はリスクマネジメントに直結します。コストと製品価値を考慮すると、Adminaは圧倒的な価値を提供します。また、今後のポートフォリオ拡充にも対応できる製品です。

## アワード バッジ



SaaS管理で10期連続でLeader取得



Good Service 受賞





## SaaS

UZABASE LayerX RevComm STORES IOX yappli MIXTEND  
弁護士ドットコム smartround mi-6 ABEJA ULURU SHANON トヨクモ

## 人材

dip ONE CAREER Wantedly  
LAPRAS LabBase PIECE to PEACE

## サービス

OPEN HOUSE GROUP POLA ORBIS HOLDINGS  
令和トラベル 山家

## Webサービス

Makuake モノタロウ favy FLN  
LIFEMARK note SHIMAUMA PRINT

## 開発

Sun\* TECHORUS Spee  
SonicGarden Serverworks

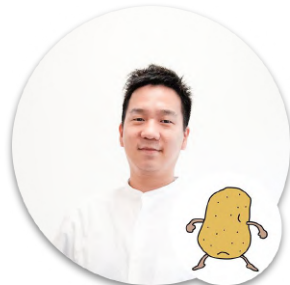
会社名	マネーフォワード i 株式会社
代表	今井 義人
創立年月	2021年2月
所在地	東京都港区芝浦3-1-21 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 21F
株主	株式会社マネーフォワード(100%)
事業内容	情シス向けのSaaS/デバイス管理サービス マネーフォワードAdminaの開発・提供





CEO  
今井 義人

2009年: Apple Japan  
2012年: ミール株式会社(プロダクトマネージャー)  
2015年: 株式会社マネーフォワード  
マネーフォワードクラウド経費 本部長就任  
2021年: マネーフォワード i の代表取締役就任



取締役/CPO  
村上 勝俊

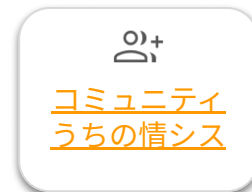
新卒からインフラ開発運用保守、PMを担当  
社内開発プラットフォームの運用整備やクラウド導入  
支援、クラウド利用ポリシーの整備を実施  
2019年: 関西開発拠点長に就任し京都へ移住  
2020年: 本事業を企画立案  
2021年: 社内起業し、マネーフォワード i を創業



取締役  
中出 匠哉

2001年: ジュビターショップチャンネル  
注文管理・CRMシステムの開発・保守・運用を統括  
2007年: シンプレクス株式会社  
証券会社向け株式トレーディングシステムの開発・保  
守・運用に注力。FXディーリングシステムのアーキテ  
クト兼プロダクトマネージャーとして開発を統括  
2015年: 株式会社マネーフォワード  
Financialシステムの開発に従事。  
2016年: CTOに就任

# お問い合わせ



[bizdev@i.moneyforward.com](mailto:bizdev@i.moneyforward.com)